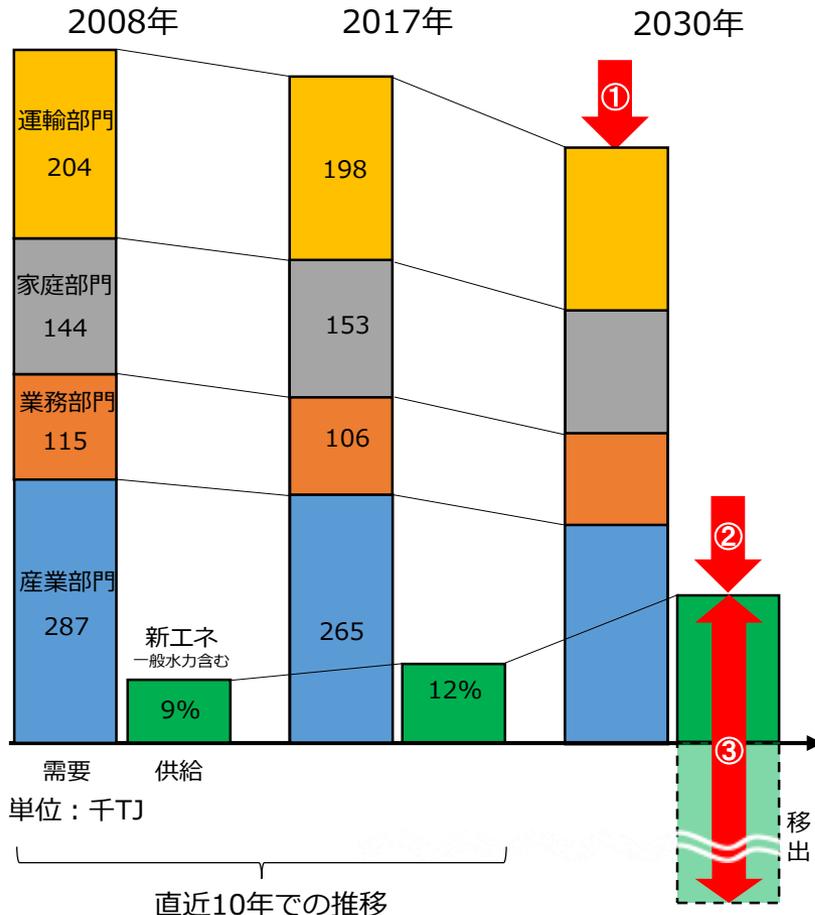


# 次期行動計画における目指すべき成果の考え方

- 次期行動計画の取組の進捗状況や効果の把握を目的として、目指す姿に向けた3つの挑戦による成果となる指標を設定し、数値目標の達成を目指す。また、成果指標に関連する取組や、成果指標とした以外の取組の進捗状況を概括的に把握するため、補助指標を設定して、その推移を把握する。本日は成果指標及び補助指標についてご議論いただきたい。
- なお、道は毎年、成果指標及び補助指標の実績を含めて、次期行動計画に関する取組状況等を調査し、その結果を公表するとともに、取組内容の点検を行い、重点的な取組分野を示すなど次年度以降の施策に反映させることとする。

## ＜考え方のイメージ＞



考え方	成果案		
	〔 新:新たに設定を検討する成果案 / 継:引き続き設定を検討する成果案 〕		
	指標案	補助指標案	
省エネの深掘り (①)	<b>継：エネルギー消費原単位<sup>※</sup>の減</b> <small>※各部門の活動量1単位当たりの最終エネルギー消費量</small>	道内企業の環境産業への参入による地域経済の好循環の実現 <b>継：環境関連ビジネス実施企業割合の増</b>	(家庭部門) <b>新：省エネ基準に適合する住宅の割合</b> (大口需要家) <b>新：新築ZEBの件数</b> (運輸部門) <b>新：次世代自動車の台数</b> (地域) <b>新：地域マイクログリッドの件数</b>
化石燃料の使用効率化と転換 (②)	<b>新：化石燃料の使用抑制量の増</b>		(新工ネ実績) <b>新：熱効率利用(コージェネ)実績</b> <b>継：新工ネ熱利用実績</b> <b>継：新工ネ発電実績</b>
新工ネの拡大 (③)	<b>新：新工ネ導入率<sup>※</sup>の増</b> <small>※新工ネ発電・熱利用実績 / 一次エネルギー供給</small>		(開発プロジェクトの誘致や先端技術の普及) <b>新：洋上風力区域指定数</b> <b>新：関連技術相談・指導件数</b> (道総研実績から) <b>新：実証開発事業数</b> ・VPP・DR関係 ・水素関係 など

省エネによるエネルギーの効率的利用の実現

再エネの最大限活用による持続可能なエネルギー供給と脱炭素化の実現

〔 成果指標に係る具体的な数値目標は、別途議論することとする 〕